

地域包括ケアの地区展開 令和7年度 喜多見 地区アセスメント

人口	面積 (k m ²)	人口 (人)	人口 密度 (人/k m ²)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率(%)	年少人 口(人)	年少人 口率 (%)	世帯数 (世帯)	平均世 帯人数 (人)	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持 者		障害サービス受 給者		
										高齢単 身者世 帯数	高齢者 のみ世 帯数	その他 高齢者 がいる 世帯	世帯率 (%)	内高齢 単身・ 高のみ 世帯率	認定者 数(人)	認定率 (%)	身体障 害者手 帳	愛の手 帳	自立支 援給付	障害児 通所給 付		
	3.973	33,413	8,410	6,714	20.09%	4,343	13.00%	16,290	2.05	5,018	2,330	1,203	1,485	30.80%	21.69%	1,433	21.34%	745	226	261	132	
傾向																						
農地等の宅地化による新たな住宅の建設が進み、若年層世代の人口が増加し、それに伴い子どもの数が増加傾向にある。高齢者も増加傾向にあり、特に都営喜多見2丁目アパートでは、高齢化率が6割近くと高くなっている。																						
地域活動	町会・自治会 数		会員世 帯数	サロン等登録団体数				社協・ 新たな 居場所 登録団 体数	社協・ 民間施 設の活 動場所 発掘件 数	社協・ 地区サ ポーター登 録数	生活支 援体制 整備事 業 協 議体開 催回数	資源開 発・生 活支援 サービス件数		主な活動団体とその取組内容								
				サロン	子育て サロン	ミニデ イ								町会自治会は、避難所運営や防災訓練などを通じた地区防災の要になるとともに、地区祭りや各種祭りを通じた住民交流の推進者となっている。高齢者対象のサロン・ミニデイや子育てサロン等は、住民同士の交流を促進している。地区社協は、高齢者懇親会や高齢者交流会を企画するなど、高齢者の社会参加を進めている。								
	9	7,446	36	29	2	5		6	18	48	4	5										
生活支援	地域密着型サービス							ショールーム ステイ	特別養 護老人 ホーム	介護老人 保健 施設	都市型 軽費老人 ホーム	サービス付き 高齢者住 宅、有 料老人 ホーム		うち、 特定施設入居 者生活 介護		障害者・児 通所系・共同生活介護等						
	定期巡回・随時 対応型訪問介護 看護	夜間対応型訪問 介護	認知症 対応型 通所介護	小規模 多機能 型居宅 介護	看護小 規模多 機能型 居宅介護	認知症 高齢者 グループ ホーム	地域密 着型特 別養護 老人 ホーム									<通所系・共同生活介護等> ・砧工房分場キタミクリーンファーム・喜多見夢工房・ゆに(UNI)分 場フェリーチェ・ケアこけら世田谷宇奈根・TODAY喜多見・クルー プホームビートル喜多見・宇奈根あーゆるハウス・グループホームHA RU宇奈根・かふえいろどり・喜多見夢工房分室・アネモネ・US喜多 見・生活支援ホーム世田谷・ホームいろえんぴつ <障害児通所支援施設> ・スタジオそら喜多見・こどもデイういず						
	0	0	1	0	1	10	0	2	2	2	3	9	8									
	障害相談支援機関・相談支援事業所																					
	・相談支援アンジュ・世田谷相談支援ポミエ																					
医療	医療機関、訪問看護等																					
	・小林クリニック・みのわ内科・高倉内科クリニック・きたみ胃大腸クリニック・小泉整形外科医院・徳永整形外科・石東クリニック・喜多見メンタルクリニック・岡本メモリクリニック・伊藤皮膚科クリニック・きたみ泌尿器科クリニック・耳鼻咽喉科弘重クリニック・喜多見やのクリニック・荻野眼科医院・喜多見眼科・喜多見東山クリニック・藤沢クリニック・サワキ歯科医院・さくら歯科医院・荻原歯科クリニック・たかはし歯科																					

子ども・教育	児童館	・喜多見児童館・鎌田児童館・成城さくら児童館
	その他、児童施設	
	おでかけひろば	・きぬたまの家・おでかけひろばFUKU＊f u k u・おでかけひろばクスクス
	保育施設	＜認可保育園＞・小梅保育園・宇奈根なごやか園・鎌田のびやか園・喜多見野の花保育園・喜多見バオバブ保育園・はあと保育園成城喜多見分園　＜認証保育所＞・喜多見こどもの家・砧南らる保育園・世田谷喜多見雲母保育園
	幼稚園	＜幼稚園＞・砧幼稚園・永安寺学園幼稚園・国本幼稚園・慶元寺幼稚園・聖セシリア喜多見幼稚園
	新ＢＯＰ	・喜多見小新ＢＯＰ・砧小新ＢＯＰ・砧南小新ＢＯＰ
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	・喜多見小学校・砧小学校・砧南小学校・明正小学校・国本小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	・喜多見中学校・砧南中学校・砧中学校・国本女子中学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	・国本女子高校・駒澤大学玉川キャンパス・東京都市大学総合グラウンド
	子どもに関するその他の事項	
	・きたみ食堂（こども食堂）・たまがわ子ども食堂・子ども食堂宇奈根プレイス・子ども食堂（大三島育徳会）・そんぽの家成城南の子ども食堂・そんぽの家Ｓ成城西の子ども食堂・そんぽの家砧南の子ども食堂・ソレイユウナネーゼ（子育てサークル）・あそぼあそぼ工作の会（親子の集いの場）	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	・ハートフルかみんぐ（福祉移動サービス）・うなかふえ（認知症のある方を含む交流スペース）	
公共施設	図書館	・鎌田図書館・喜多見図書室
	地区会館、区民集会所など	・鎌田区民センター・喜多見東地区会館・喜多見地区会館・宇奈根地区会館・鎌田区民集会所

住 まい ・ 環 境 ・ 防 災		
	主な公園・緑道・広場	・多摩川二子橋公園・次大夫堀公園・喜多見公園・喜多見農業公園・宇奈根公園・宇奈根龍王公園・鎌田二丁目公園・野川緑道・滝下橋緑道・喜多見緑道・喜多見まえこうち緑道・宇奈根下河原緑道・きたみふれあい広場・喜多見5－21遊び場
	土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）	
	喜多見地区は、地区のほとんどの区域が国分寺崖線下の野川や仙川、多摩川に囲まれた平地に位置し、区域全体が昭和8年（1933年）に指定された多摩川風致地区内にあるなど、みどりとみずに恵まれた地区であり、現在も農地が点在している。次大夫堀公園を始め、神社仏閣や喜多見稲荷塚古墳などの史跡も残っている一方、近年は農地等の宅地化も進んでいる。また東京外かく環状道路の整備に伴い、東名ジャンクション（仮称）の周辺地域では街並みや道路環境に変化が生じている。	
	なお区域の大部分が国分寺崖線の下にあり、かつ多摩川に隣接し、野川・仙川が区域内を流れていることから、古来、水害に弱い区域であり、令和元年（2019年）の多摩川の氾濫や平成17年（2005年）の野川・仙川の氾濫でも被害を受けるなど、水害対策の強化が求められている。	
	交通の便に関する事項（鉄道・道路）	
	鉄道は、地区の北部に小田急線の喜多見駅があり、幹線道路は、世田谷通りと多摩堤通りがある。他に地区の中央には東名高速道路も通っている。バス路線は、東急バスと小田急バスの2社が運行しており、幹線道路の路線は充実している。 幹線道路から一部外れる二子玉川と喜多見公園を宇奈根経由で循環する東急バス路線（玉04・05系統）は、運行形態を変更して令和5年（2023年）3月からオンデマンド輸送等が実施されている。	
産業に関する事項（買物・商店街などを含む）		
地区の北西部の喜多見駅周辺には商店街があり、商業施設が充実している。また北部は成城地区に隣接しており、成城地区の商業施設も利用できるなど、買物に便利な環境にある。一方、地区の南部にあたる宇奈根地区・鎌田地区は商店も少なく、商店街も形成されていない。喜多見地区の四者連携事業として、高齢者の孤立予防や買物不便地域対策を兼ねて、宇奈根ふれあいの家駐車場での移動販売会を実施している。		
防災 → 各地区の地区防災計画を参照		

地区課題解決の取り組み

地区ビジョン	
喜多見地区の地区ビジョンは「歴史と自然を守り子ども達で活気あふれるまち 喜多見」である。まちづくり活動を行っている団体等の議論を経てまとめられたものであり、喜多見地区の歴史遺産と自然環境を次世代までも守り続けるとともに多世代交流などを通して活気のあるまちを育てようとする意思表示でもある。	
課題、取り組みの方向性	
1. ハード面、ソフト面での水害対策の強化の取り組みを継続する。ソフト面では、福祉施設の職員やケアマネージャー（介護支援専門員）、地区住民、PTAの方々等を対象に、定期的に水害対策に重点を置いた防災講話等を継続実施する。更に防災講話に合わせて、あるいは別の機会に啓発チラシや啓発物品の配布など水害対策の啓発活動も行う。ハード面では、地区の防災力向上の視点から地区計画の策定に協力していく。	
2. 喜多見地区の四者連携事業として、高齢者の孤立予防や買物不便地域対策を兼ねて、宇奈根ふれあいの家駐車場での移動販売会を継続実施する。高齢者交流イベント「だんだんの会」においても、野菜販売会の実施を図り、高齢者の多い地区での買物支援策について継続的に取り組んでいく。	
3. 多世代交流の取り組みを進め、様々な世代が顔見知りになることによる地区での見守り強化を目指す。現在実践している内容は、下段の「参加と協働の地域づくりの取り組み内容」のとおり。	
参加と協働の地域づくりの取り組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取り組み）	
①	ハード面、ソフト面での水害対策の強化の取り組みを継続する。ソフト面では、福祉施設の職員やケアマネージャー（介護支援専門員）、地区住民、PTAの方々等を対象に、定期的に水害対策に重点を置いた防災講話等を継続実施する。更に防災講話に合わせて、あるいは別の機会に啓発チラシや啓発物品の配布など水害対策の啓発活動も行う。ハード面では、地区の防災力向上の視点から地区計画の策定に協力していく。
②	喜多見地区の四者連携事業として、高齢者の孤立予防や買物不便地域対策を兼ねて、宇奈根ふれあいの家駐車場での移動販売会を継続実施する。高齢者交流イベント「だんだんの会」においても、野菜販売会の実施を図り、高齢者の多い地区での買物支援策について継続的に取り組んでいく
③	児童館に通う中高生世代が参加する高齢者福祉施設への慰問イベントや児童館事業へのまちづくりセンター・あんしんすこやかセンター・社会福祉協議会事務局の参加協力や喜多見2丁目団地で行われる交流イベント「だんだんの会」への児童館に通う子供たちの参加などを通して、多世代交流を継続実施している。
④	ラグビーチームのリコーブラックラムズ東京や宇奈根町会の協力によるラグビーなどを通じた交流イベント「きたみファミリーデー」の開催
⑤	他の三者や地区のボランティアが協力して開催する「きたみ食堂（子ども食堂）」を通じた参加と協働の地域づくりを実践している。